

行雲流水

No.271 令和4年11月24日発行

「試験に至るプロセス」から学ぶこと

校長 寒河江 正人

生徒諸君。

「**2学期期末テスト**」の初日、おつかれさま。

「**本日のできばえ**」は、いかがでしたかな？

「**あらかじめ復習・練習・準備しておいたこと**」が、「**確かに発揮できる実力**」となって、「**うん！よくできた！！**」という人もいるでしょう。

その一方で、「**復習・練習・準備が、足りなかったなあ。**」と実感した人もいるでしょう。

以前に、校長だよりで「**試験も、試合だ。**」とお伝えしたことがありますね。

あなたが、試合の場で「**納得のいく良い結果を手にしたい。**」と望むのであれば、「**あらかじめ復習・練習・準備しておくこと**」は、最低限、必要不可欠なことであります。それは、スポーツの世界でも文化・芸術の世界でも、いかなる分野・領域でも同様のこと。

「**試験（試合）に至るプロセス**」から、「**勝負はすでに始まっている。**」と言えるのです。だから、「**試験（試合）に至るプロセス**」を軽く扱う者は、決して成功しません。勝負事は、厳しい。自分を甘やかす者に神仏は、微笑まない。

まずは、今日、この後、大切にしたいことは、「**本日のできばえ**」を引きずらないこと。まだ明日も「**2学期期末テスト**」は、2日目が続きます。すぐに頭を切り換えましょう。

今日、自分のやるべきことをごまかさない。

今日、自分のやるべきことから逃げない。

今日、やらない言い訳をしない。

今日、与えられた時間の中で、最善を尽くす。

今日、今の自分にできることにベストを尽くす。

今日、今は、その1点に集中すること！！ 健闘を祈る！！